



第22回

評議員会の議長について審議

東京ビル政連は6月17日、ビルメンテナンス協会において第143回評議員会を開催し、「第22回評議員会の議長について審議した。」

梶山龍誠理事長は、冒頭挨拶で「6月22日投票の都議会議員選挙への対応として、皆様には支援候補者への推薦料手交など、さまざまなご協力をいただいております。投票日まであと5日。支援候補者が当選できますように、最後までご協力をお願い申し上げます。」と要請した。

続いて議長の本寛副理事長が、「審議事項に入る前に、事務局長と事務局次長の任命報告がございまして」と説明。東京ビル政連の事務局長その他の職員は、理事長が任命するという規約に基づき、梶山理事長が、「6月3日の東京ビルメンテナンス協会の定時総会において、高橋誠氏が専務理事を退任され、新専務理事に西海哲洋氏が就任。それに伴い、当政治連盟も西海氏

を事務局長として任命いたしました。また、東京協会の4月の人事異動に伴い、当政治連盟の事務局次長も内山典彦氏から川上天輔氏に変更、任命いたしました」と報告。西海事務局長と川上事務局次長が、就任の挨拶を行った。

審議事項の「第22回評議員会の議長」の提案説明は、梶山理事長が担当。「令和7・8年度の評議員20名の中から、これまでの経験などを踏まえ、五光ビル管理株式会社の代表取締役社長・多田田豊様

にお願ひしたい」と提案して全会一致で承認された。報告事項は4件。「東京都議会議員選挙の対応」と「第27回参議院議員選挙の対応」は、横田英雄幹事長が都議選重点支援候補者への推薦料手交や、全政連からの要請に基づく応援活動を報告。「4月理事会以降の動きと今後の予定」と「会員等の推移」については西海事務局

長が担当して説明した。東京ビル政連は7月8日、浅草ビューホテルにおいて第144回評議員会を開催し、「令和8年度東京都要望」と「第22回評議員会の次第」について審議した。

梶山龍誠理事長は冒頭、「6月22日の東京都議会議員選挙では、皆様に重点支援候補者へのさまざまなご協力をいただき、6名中4名が当選という結果になりました」と報告。続けて「7月20日には参議院議員選挙も控えております。重点支援候補者の橋本聖子先生には、ぜひとも当選していただくため、当政連としても引き続き支援してまいりたいと思っております」と決意を述べた。

審議事項については、「8月下旬から9月上旬を予定している都議会3会派の要望ヒアリングにて提出する令和8年度の要望と、第22回評議員会の次第となります」と説明。「要望は、東京都の契約制度や、その運用の改善を目指す重要なものです」と強調して活発な議論を要請した。

審議事項の令和8年度東京都要望は横田英雄幹事長が担当して、複数年契約案件、障害者雇用促進モデル入札案件、労働災害対策など、令和7年度との違いを中心に提案説明。第22回評議員会の次第は梶山理事長が担当。「7月29日火曜に開催。都議会自民党ビルメンテナンス業振興政策研究会の宇田川会長にご挨拶いただく予定です。



東京都要望と

評議員会次第を審議

宇田川聡史 ご母堂通夜
〔4月23日〕橋本聖子 後援説明会
〔5月13日〕各種団体協議会 常任世話人会
〔5月26日〕第17回平フォーラム
〔5月30日〕各種団体協議会 常任世話人会
〔6月2日〕武見敬三 出版披露会
〔6月17日〕第143回政連理事会
〔6月22日〕都議会議員選挙投票開票
〔6月23日〕理事・監事推薦委員会会議
〔7月8日〕第144回政連理事会
〔7月8日〕役員・委員の集い2025
〔7月20日〕第27回参議院選挙 投票開票
〔7月29日〕第22回評議員会
〔7月29日〕臨時理事会



令和7年4月下旬〜7月

〔4月16日〕第142回政連理事会
〔4月21日〕都議会議員



理事会の様子



議長を務めた榎本副理事長



冒頭挨拶を述べる梶山理事長



報告事項の説明を行う西海事務局長



報告事項の説明を行う横田幹事長



理事会の様子

報告事項は5つあり、「全政連役員推薦について」は梶山理事長が、2025年度から2027年度の役員として推薦したことを報告。報告事項は5つあり、「全政連役員推薦について」は梶山理事長が、2025年度から2027年度の役員として推薦したことを報告。報告事項は5つあり、「全政連役員推薦について」は梶山理事長が、2025年度から2027年度の役員として推薦したことを報告。

厚労省 令和6年賃金構造基本統計調査結果を公表 ビル・建物清掃員は22万2400円

区分	企業規模計 (10人以上)							
	年齢 (歳)	勤続 年数 (年)	所定内 実労働 時間数 (時間)	超過 実労働 時間数 (時間)	きま まって 支給する 現金給与 額 (千円)	所定内 給与額 (千円)	年間賞 与 その他 特別給 与額 (千円)	労働者 数 (10人)
ビル・建物清掃員	52.8	8.5	162	7	222.4	211.1	194.1	12,909
警備員	52.9	10.4	166	19	268.3	230.6	318.5	22,573

厚生労働省は3月17日、「令和6年賃金構造基本統計調査」の結果を取りまとめた公表した。調査は、全国の主要産業に雇用される労働者の賃金の実態を、雇用形態別、就業形態別、職種別等に明らかにすることを目的として、毎年6月の賃金等について7月に実施している。今回公表した企業規模が10人以上のきままって支給する現金給与額は、ビル・建物清掃員が22万2400円、警備員は26万8300円であった。